

活動報告

家族介護に関するアンケート調査報告

会員ライフサポート部 清川 恵子

会員ライフサポート部 活動報告 第2報

今回は、昨年7月に皆様をお願いいたしました“家族介護に関するアンケート調査”の第2報についてご報告いたします。前回の第1報では“介護の現状と不安について”を中心にご報告させていただきました。アンケートから改めて就業継続の問題に家族介護があること、そして、それ

は決して他人事ではないと広く認識してもらうことが重要であるという結果に至りました。

第2報では「現在、介護をしている」と答えた方の中から“具体的な介護内容”について“生の声”から抜粋して年代別にお届けしたいと思います。

有効回答者数945名、回収率27.4%
現在介護中の人43名/945名 (4.6%)
介護中の方の内訳：【性別】男性19名、女性24名

【年齢】20歳代8名、30歳代9名、40歳代17名、50歳代5名、60歳代以上4名

◆全体

介護の具体的な内容を、自由記載の文面から集計すると、複数回答（回答者34名）で身体介護が20名（37.7%）、家事援助が16名（30.2%）、管理・調整役が12名（22.6%）、経済支援が3名（5.7%）、精神面のケアが2名（3.8%）でした。介護介入の頻度は、介護者と同居の場合、同居の家族の有無に関わらず、毎日という方がほとんどでした。別居の場合は、自宅と介護者宅を頻回に行き来をしながらの負担の大きい介護から、月1回程度の面会まで様々でした。男女関係なく、介護・援助をしている様子がわかりました。

介護中の負担、不安の内容としては、複数回答で経済面が16名（50.0%）、就業継続が12名（37.5%）、親族との関係・その他がそれぞれ7名（21.9%）でした。介護中だが負担、不安が「ない」と答えた人の背景としては、介護認定なし～要介護1の介護がほとんどで、要介護5の場合も施設入所での介護支援であり、同居者、親族の援助もある場合が多くありました。

◆20歳代

- ・女性 A：認知症が進み、易怒性+なことや介護者に当たるとこともあり精神的負担が非常に多い。（同居・祖父母 支援2）
- ・男性 B：週末に家事手伝い。（別居・祖父母 介護3）
- ・女性 C：自分が休日の時には行動を共にするようにしている。すべてのADLに促しを要している為、確認するようにしている。（同居・祖父母 介護1）

◆30歳代

- ・女性 D：土日（休日）の私の外出に関して不安（一人になってしまうこと等）が怒りとなってしまうので自由に外出することができないことが4～5年続いていた。父が仕事を辞めて家事ができるように練習し、ここ数ヶ月ようやく土日の仕事や自分の時間が使えるようになった。介護内容は家事全般と mental care。年齢が若い分、介護保険という頭もなくレベルでもないですが、

病気を受容して前向きに活動することや、家族の負担を考えることは困難のようです。親なのであきらめるしかありません。「同居という名の介護」です。（同居・親 介護保険申請なし）

- ・女性 E：家にいる間は常時。体交、食事介助など。（同居・親 介護5）

◆40歳代

- ・女性 F：別居でヘルパー導入しています（毎日）。平日にいろいろな手続きに（遠隔地）いくくらいです。入院中は病院に洗濯など全てお願いしていました。遠距離での介護なので、肉体的につらいものがあります。（別居・親 介護1）
- ・男性 G：週4回～5回身の回りの世話、食事、片付けなど。（別居・祖父母 介護1）
- ・男性 H：食事、通院、雑務（Pトイレから、掃除、ペットボトルを開ける迄）。（同居・親 介護3）
- ・女性 I：本人の身体機能が住環境とマッチしていないため今少しの機能改善と住環境の整備を行っている。その間の一時的な同居です。（親 申請中）
- ・男性 J：週1、2回通院、1、2時間介護（妻 PT 常勤になれず）妻がいけない時私が代わりにいきます。（別居・親 介護2）

◆50歳代

- ・女性 K：週1回食事介護。（施設・親 介護5）
- ・女性 L：日中、本人は独り（見守りなし）。なんとか家の中は独りで動いているがしょっちゅう転倒している。食事も身の回りも全部介助が必要。薬の管理も必要。2～3日/月短期入所を5月～利用するようになった。（同居・親 介護2）

◆60歳代以上

- ・男性 M：24時間泊まり込み（別のアパートを借りて2人を介護している）。（両親 介護5）



アンケートでは、現在介護中、将来の介護の可能性ともに性別、年齢に割合の差はほとんどなく、理学療法士としての知識や経験があっても「不安」との回答者は圧倒的に多くありました。理学療法士だからこそ、家族の介護にしっかり向き合いたい、または、周りから期待されるということがあるのかもしれませんが、知っているからこそ、対処もできる時もありますが、逆に負担を多く背負うこともあると感じました。

次回、第3報では「現在、介護をしていない」と答えた方の「将来の介護不安について」をご報告する予定です。

「PTママの会」より 第7回勉強会のご案内 ～スキルアップシリーズ Vol.3～

テーマ：「明日から役立つ！PNF 入門基礎・実践」
平成24年6月10日(日) さいたま赤十字病院
ランチ交流会・バザー、キッズルームあり

詳細・申し込みは PT ママの会：ptmama@hotmail.co.jp
河合麻美まで

information



神奈川県理学療法士会 メールマガジン登録をお願いします

本会 HP に掲載される、講習会、求人、会員向け最新情報を定期的にメルマガにて配信しております。

ぜひ、下記より登録してください。

◆メールマガジン配信の登録はこちらから
https://www.pt-kanagawa.or.jp/reg_mg.html



(年度末に送信エラーのメールアドレスは、本会で削除させていただきます)

ウェブサイト管理部 担当理事 福島 努

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが 楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- ・「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
 - ・会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
 - ・書籍購入（一部割引）等が可能となります。
- *詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認いただき、手続きを行って下さい。

(社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

会費口座振替のお知らせ

6月27日、平成24年度年会費が指定口座から引き落としされます。口座残高の確認をお願いします。
尚、楽天カードへの切替えがお済でない方は早急に手続きをお願いします。

*手続きについては、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。